

安全衛生基本理念

「人命尊重」は安全衛生活動の基本である。安全意識の高揚と活性化を図り、快適な職場環境を形成することで「労働災害と設備事故」の撲滅を旨とします。併せて「基本に忠実」を実践し、お客様のベストパートナーとして信頼に応えます。

2021年度 安全衛生方針・目標

■安全衛生方針

『安全は人が育てる』を基本とし危険要因の根絶を旨とし、全員が参加する相互啓発型の安全文化を創出し事故を撲滅します。

■安全衛生目標

- ・死亡災害・重大災害「ゼロ」の継続
- ・環境事故「ゼロ」の継続
- ・社員の健康増進

◎重点取組事項

1. 安全品質パトロールの徹底とリモート巡視も活用したコミュニケーションの活性化
2. ICTを活用した安全品質管理の高度化と効率化
3. 協力会社に対し、過去の事故・クレーム事例の職種ごとにまとめた資料等での勉強会
4. 建設キャリアアップシステムの加入促進と実施現場での確実な運用
5. 健康な職場環境の構築、有給休暇取得徹底の推進

2022年度 東海支店安全衛生計画

スローガン

事故撲滅 ルールと手順を守って安全作業

重点取組事項

1. 安全品質パトロールの徹底とリモート巡視も活用したコミュニケーションの活性化
 - 安全パトロールの強化
 - 各種検査、品質巡回の強化
2. ICTを活用した(WEBカメラ、i-Report等)安全品質管理の高度化と効率化
 - 安全パトロールのICTを活用した社内展開による情報共有の徹底
 - 品質巡回記録のICTを活用した社内展開による情報共有の徹底
3. 協力会社に対し、過去の事故・クレーム事例の職種ごとにまとめた資料等での勉強会
 - 安衛協ポータルサイトを活用した過去事故、瑕疵クレーム事例等の情報共有強化
 - 協力会社と勉強会の共同開催継続
4. 建設キャリアアップシステムの加入促進と実施現場での確実な運用
 - 協力会社へ事業者・技能者登録の推進
 - 元請現場での実施
5. 健康な職場環境の構築、有給休暇取得徹底の推進

指差し呼称の励行
安全トレーニングの日10日
点検の日 16日

2021年度安全衛生活動結果

施策項目	具体的計画内容	実施結果
1. 安全品質教育の強化 ・協力会社との共存共栄	■ 過去事故・瑕疵クレーム事例の水平展開	毎月のES部会・安全衛生協議会により最新事故情報・再発防止策周知は行い、過去の事故事例についても再周知を行った。コロナ拡大で1回の実施となった安全集会でも再周知を行った。
	■ 各種検査、品質巡回の強化	毎月、安全管理システムより安全施工検討会の実施確認を行い、新規契約物件以外はほぼ100%の実施を確認した。
	■ 会社訪問教育での教育強化	新型コロナウイルスの第5波第6波が発生し、上期2社、下期2社の計4社のみ訪問となった。2022年度は出来るだけ対面を実施したいが、無理な場合は資料、動画を活用する。
	■ 協力会社と勉強会の共同開催	今期は、毎月計12回のES部会・安全衛生協議会において、品質について社内検査指導、ゼネコン品質資料等を絡込み品質向上へ周知・伝達を行った。
2. ICT活用 ・働き方改革	■ Webカメラ活用による早期情報共有	危険工程には、できる限り立会いを実施しているが、Webカメラi-padのTeams会議を利用して現場施工状況を確認も5件実施
	■ 安全管理システム、安全衛生協会ポータルサイトの活用強化	安全管理システムの改修は来季となった。協力会社ポータルは毎月の安全衛生協議会資料のアップを行い使用できなかった1月までは協力会社アクセス率85%以上を確保
	■ キャリアアップシステムの推進拡大	建設キャリアアップシステムへの登録推進に向け、四半期毎にアンケートを送付し、事業者登録15%→92%、技能者登録59%→67%となり目標達成を達成した。2次下請けも事業者64.1%、技能者73.7%で今年度目標達成した。
	■ 健康な職場環境の構築、有給休暇取得徹底の推進	現場パトロール時のコロナ対策（検温、マスク使用）100%確認した。支店目標とした有給休暇6日取得も達成し、コロナクラスター発生はなかった。
3. 羽田安全研修センターの活用強化	■ 安全当事者研修への受講継続推進	安全当事者研修は、昨年同様e-ラーニングによる開催となった。対象者62名の参加を確認した。
	■ VR機器の協力会社貸出しによる体験研修推進	今期はコロナもありVR機器の貸出しを計画。体験者119名を目標にアナウンスを実施。体験者119名
	■ 模様替研修及び特別教育の推進（フルハーネス・石綿・酸欠等）	模様替研修は、コロナ禍であったが、人数を絞り回数を増やし、2020年度より100名ほど増加した。特別研修はフルハーネスもほぼ取得定着して教育要望も少なく昨年からは半数の33名であった。
	■ NACSによる安全研修の実施・受講者拡大推進	NACS活動は、コロナの影響を振り安全大会は中止、安全研修は昨年と同様にCD配布でアンケート収集を実施
4. 重大事故撲滅の徹底	■ 安全パトロール強化	毎週の危険工程会議にて、危険工程立会を調整し、危険工程への立会いを計画、実施した。危険工程立会118回、特別パトロール83回実施。幹部パトロール53回（重複あり）実施
	■ 現場代理人に対して安全教育の実施	毎月のES部会・安全衛生協議会により事故情報・再発防止策周知は行ったが、新型コロナウイルスにより安全集会が中止となり教育・コミュニケーションが不足となった。

総括
2021年度東海支店0報発信は対象外・交通事故・私病の5件を含め18件（内 ケーブル端末処理不足の地絡事故1件）でした。2020年度は対象外・交通事故3件を含め12件（内 事故2件）で事故は減少傾向ですが、クレーム・瑕疵が増加している状況です。要因は漏水・結露が多く品質欠如が散見されます。安全管理を強化し事故0へと現場の品質管理強化による瑕疵・クレーム0件を目指し尽力いたします。

2022年度取組施策

施策項目	具体的実施計画内容	計画部門
1. 安全品質パトロールの徹底とリモート巡視も活用したコミュニケーションの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全パトロール強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ リモートを含め、本工事現場の実施工程内で1回以上安パトを実施（目標450回） ・ リモートを含め、本社・本店幹部による全国巡回・特別パトロールの実施（年4回 10件） ■ 瑕疵クレーム事例の水平展開、各種検査・品質巡回の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質施工検討シートの活用、専任担当者による品質巡回（支店50回） 	安全品質管理部 ES部
2. ICTを活用した(WEBカメラ、i-Report等)安全品質管理の高度化と効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全パトロールのICTを活用した社内展開による情報共有の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ Webカメラによる危険工程作業への見守りサポート実施（5現場） ・ i-Reportによる安全パトロール巡回記録の即時閲覧共有に実施 ■ 品質巡回記録のICTを活用した社内展開による情報共有の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ i-Reportによる社内検査・品質巡回記録の即時閲覧共有に実施 	安全品質管理部 総務部
3. 協力会社に対し過去の事故・クレーム事例の職種ごとにまとめた資料等での勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安衛協ポータルサイトを活用した過去事故、瑕疵クレーム事例等の情報共有強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安衛協ポータルサイトを使い易さとセキュリティを強化し、安全品質の情報共有を一元化する ■ 協力会社と勉強会の共同開催継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故事例、瑕疵クレーム事例勉強会の実施（2回実施） 	安全品質管理部
4. 建設キャリアアップシステムの加入促進と実施現場での確実な運用	<ul style="list-style-type: none"> ■ キャリアアップシステムの推進拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力会社への事業者（1次100%・2次以降80%）、技能者登録の推進（1次100%・2次以降80%） ・ 元請け工事での運用実施拡大（15現場）、各支店への元請け現場設置説明会実施 	安全品質管理部 ES部
5. 健康な職場環境の構築、有給休暇取得	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康な職場環境の構築、有給休暇取得徹底の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場のコロナ対策環境改善支援、社員の有給休暇6日以上取得・リフレッシュ休暇5日取得の推進を行う 	総務部

2022年度安全衛生計画表

実施部門	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安全品質管理部 ES部門	毎週の危険工程会議による危険工程立会計画・実施											
	安全週間特別パト			衛生週間特別パト			年末年始特別パト			年度末特別パト		
	ES部・安品部で実施	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	危険工程への見守りサポート（5現場）											
	支店へのi-Reporter閲覧システム構築						支店での閲覧システム運用					
	支店へのi-Reporter閲覧システム構築						支店での閲覧システム運用					
	安衛協ポータル改修						安衛協ポータルの運用・意見収集					
	安全管理システム、安衛協ポータル改修						事故事例、瑕疵クレーム事例勉強					
	安全管理システム、安衛協ポータル改修						事故事例、瑕疵クレーム事例勉強					
	事業者登録1次100%、2次以降80% 技能者登録1次100%、2次以降80%、											
	元請工事 15現場システム導入実施											
	現場確認によりコロナ対策物資の支援を実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の毎月取得状況を確認し取得を推進させる											

年間行事				月間目標			
1) 全国交通安全運動	4/6~15、9/21~30	5) 全国労働衛生週間(※29の配布)	10/1~10/7(9月準備期間)	4月 交通災害防止	5月 感電災害防止	8月 感電災害防止	12月 歳末無事故・無災害、ケーブル誤切断防止
2) 安全衛生大会	6、7月(各店で実施)	6) 火災予防運動	11/9~15、3/1~7	5月 墜落災害防止	9月 建設機械・電動工具災害防止	9月 建設機械・電動工具災害防止	1月 年頭無事故・無災害
3) 全国安全週間(※29の配布)	7/1~7/7(6月準備期間)	7) 年末年始災害防止強調期間(※29の配布)	12/1~1/15	6月 5S運動・漏水事故防止	10月 健康管理	10月 健康管理	2月 危険工程の抽出と作業手順書作成
4) 電気使用安全月間	8/1~31	8) 年度末労働災害防止強調月間(※29の配布)	3/1~3/31	7月 埋設物・火災事故防止・熱中症予防	11月 火災予防	11月 火災予防	3月 年度末労働災害防止